

議会だより



新町議誕生 よろしくお願いします

- 審議議案 初議会・6月定例会について …… 2～5
- 一般質問 9人の議員が質問 ……………… 6～11
- 住民の声・まちの力 ……………… 12

小豆島町議会 初議会

新たな体制で4期目がスタート

4月15日に行われた町議会議員選挙において、町民の信任を得た14人の議員が誕生しました。
4月27日には臨時会（初議会）を開催し、正副議長や各常任委員会・議会運営委員会などの各委員が選ばれ、新しい議会の運営体制が決まりました。



副議長 藤本 傳夫



議長 谷 康男

議長・副議長就任のあいさつ

委員会構成

伝法川防災溜池事務組
合議会 中松和彦 安井信之

監査委員 人事案件

○委員長 ○副委員長
○総務建設常任委員会
○中松和彦 ○森 弘章
森口久士 柴田初子
大川新也 谷 康男
藤井孝博

香川県後期高齢者医療
広域連合議会 安井信之

小豆島中央病院企業団
議会 谷 康男 藤本傳夫
浜口 勇 安井信之
森口久士 中松和彦

○教育民生常任委員会
○安井信之 ○大下 淳
浜口 勇 鍋谷真由美
藤本傳夫 森 崇
三木 卓

香川県広域水道企業団
議会 中松和彦

○広報編集特別委員会
○森口久士 ○安井信之
浜口 勇 中松和彦
森 弘章 大下 淳
藤井孝博 森 弘章
大下 淳 三木 卓

選挙管理委員会

岡田弘彦 大下 謐
中山知子 岡野俊昭

専決処分
・税条例等の一部改正
・国民健康保険税条例
の一部改正

教育委員会委員

教育長 高橋 昭治(草壁本町)

藤井 孝博(馬木)
(議会選出)

石田 良行(二面)

解と協力なくして前に進むことはできません。
今回、松本新町長が誕生し、議会議員も刷新され、新しい小豆島町という車が発車いたします。町長がハンドルを握り小豆島の未来に向けて出発しようとしています。そして、議会はその車のブレーキとアクセルです。もし、住民の意思に反し、道を間違えるようであればブレーキを踏み、住民のために重要な施策については、アクセルを踏み前に進めていくのが議会の使命だと考えています。

これから議会運営に対し、全身全霊で取り組みますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

副議長といふ重責の命を受けました。谷議長を補佐し、住民のために町を取り巻く様々な課題解決に向け微力ながら努力してまいりますので、住民の皆様方をはじめ執行部ならびに議員各位のご協力をよろしくお願ひします。

選挙

小豆地区広域行政事務組合議会
谷 康男 浜口 勇 森口久士 中松和彦
藤本傳夫 安井信之 (有)サキヤマモータース
契約金額674万円

物品購入契約

塵芥収集車購入事業
相手方



照下あけみ (馬木) 中川 晋 (木庄)



月例会

6月定例会は6月13日～26日の14日間開催されました。予算案件1件、人事案件1件、契約案件1件、その他案件3件のほか、議員から発議案件1件が提出されました。予算案件に関しては、各常任委員会に付託され、慎重に審議されました。全ての議案は原案通り可決されました。初日には町長から所信表明が行われ、それに対して9人の議員から一般質問があり、町の将来に向けた討議がなされました。

審議した主な議題

補正予算

一般会計（第1号）

（総務費）

ホームページ調査業務 委託料

86万円

ホームページの課題・改善点等の調査研究やリニューアルプランの作成委託料です。

町勢要覧作成業務委託料

300万円

町勢要覧を全面改訂するための委託料です。

先端自治体連合負担金
文化と教育の
125万円

豊岡市等と連携して

文化と教育の先端自治体連合の設立やコミュニティサイトを構築する負担金です。

自治総合センター・ミニユーニティ助成事業助成金

1,440万円

馬木の太鼓台修繕や西蒲生の自治会館を新築するための助成金です。

池田保健センターアー改修工事

5,508万円

池田保健センターを窓口センターとして活用するための工事費です。

（民生費） 地域密着型サービス等整備事業補助金

840万円

民間介護施設の多床室を準備室化するための補助金です。

池田庁舎解体工事

2,754万円

池田庁舎を解体撤去し、駐車場として活用するための工事費です。



旧池田庁舎

老朽危険空き家等除却事業補助金

730万円

老朽空き家の除却のための補助金です。国の決定額増額により増額補正しました。

（農林水産業費）農業振興地域整備計画策定業務委託料

400万円

農業振興地域整備計画策定のための委託料です。持ち主の意向を調査しながら更新を行います。

海岸保全施設長寿命化計画策定業務委託料

1,280万円

海岸保全施設長寿命化計画策定のための委託料です。漁港の維持管理のため、施設の損傷度調査及び長寿命化計画作成の委託料です。

道路補修工事（土木費）

1,500万円

年度当初3,500万円の予算を組んでいましたが、住民の要望に応えるため増額します。



農道蒲野沖田線

道路補修工事

1,500万円

年度当初3,500万円の予算を組んでいましたが、住民の要望に応えるため増額します。

福田漁港高潮対策工事

3,000万円

福田漁港の高潮対策工事について、国の補助金増額により、工事費を増額します。



福田漁港高潮対策



道路補修工事

委員会意見を 付けて可決

次の意見を付けて、
賛成多数で原案通り可
決しました。

(環境衛生課)

道路や施設に接する
等、特に住民に危険を
及ぼす恐れのある空き
家の除却について、早急
に対策を検討されたい。

(学校教育課)

中学校の吹奏楽部に
外部の指導者を招へい
する等、楽器整備の効
果向上に努められたい。

(社会教育課)
歴史文化基本構想の
策定については、計画
的かつ早急の事業着手
に努められたい。

人事案件

農業委員の任命につい
ての同意

1人欠員となつてい
た農業委員に、谷岡潤
三氏を任命することに

同意しました。

に利用する計画でした
が、社会経済情勢の変
化により、都市再開発
用地（製造業用地）の
みに利用計画を変更す
ることに対し、香川県
から町長へ意見を求め
られ、町長から異議が
ない旨回答することに

同意しました。

行うものです。

過疎地域自立促進計画 の変更

返還に有利な過疎債
を、旧内海・池田庁舎
の解体撤去工事に活用
できるよう計画変更
を行うものです。



谷岡 潤三氏(草壁本町)

工事請負契約

馬木ポンプ場
電気設備更新工事
相手方

東芝インフラシステム
ズ株
契約金額6,437万円



馬木ポンプ場

辺地総合計画の 策定及び変更

池田小学校へ給食を
配送していた車両が老
朽化したため更新する
事業、草壁会館の改修
工事、苗羽地区に新た
な防火水槽を設置する
事業に、返還に有利な
辺地債を活用するため
の計画策定及び変更を

議会活性化特別委員会
の設置について
議会活性化に関する
事項を協議するために
特別委員会を設置しま
した。

○藤本傳夫○藤井孝博
鍋谷真由美 森口久士
柴田初子 大川新也
大下淳 三木卓

発 議

全国町村議会議長会表彰



公有水面埋立地の 用途変更

香川県が平成10年か
ら進めている草壁沖の
埋め立て事業につい
て、当初は下水処理場
と都市再開発用地（住
宅用地、製造業用地）

森口議員が香川
県町村議会議長会
の会長として尽力
した功績を讃えら
れ、全国町村議会
議長会より感謝状
が贈呈されました。



新しい議場での定例会の様子

一般質問

小豆島の行方をどう考えるか



安井 信之議員

町「議会と協議し今後のあり方を決断したい」

質問 消防、水道事業はもとより、医療、国保事業等2町・県で行っている。

島は一つすなわち行政も一つとして考えているのか。

答弁 小豆島町が合併して手厚い交付税措置等により、町の基盤づくりは大きく前進した

奨学金、修学資金制度の考え方について

町「有利な制度についてはもつとPRしていきたい」

質問 一括返済した人が、猶予期間内で帰島した場合、制度の恩恵を受けられないではないか。

答弁 小豆島町が合併して手厚い交付税措置等により、町の基盤づくりは大きく前進した



統合された病院

小豆島の魅力情報を常に世界に向けて発信を



浜口 勇議員

町「関係団体と連携をはかり世界へ発信する取り組みを進める」

るのか。

質問 人口減少と高齢化は小豆島の最大の課題であり、その対応と協議し今後のあり方を決断したい。

答弁 小豆島の魅力情

報発信は大切である。「二十四の瞳」は平和と教育の原点であり、「八日目の蝉」は虫送りや棚田の景観で中山

を訪ねてみたいとの思

いを持ち続けてもらわ

ねばなりません。それ

には魅力情報を継続し

て世界への情報発信が

大切である。

今までに最も影響の

あつたのは壺井栄の小説「二十四の瞳」の映画化であり、近年では

あつたのは壺井栄の小説「二十四の瞳」の映

画化であり、近年では

映画「八日目の蝉」小豆島高校の甲子園出場と京都での駅伝大会、大相撲の琴勇輝関の活躍が全国放送で報道された。今後の魅力情報

の具体的発信はどうす

る。

らに島の深い魅力を知り、発信する好循環が起きることである。

情報連鎖の誘発をおこすように関係団体と連携をはかり世界へ発信する取り組みを進め

うしても対象となる債務が存在していないという状況になつているので、いかんともしがたい面があると思う。償還手続きに際して繰り上げ償還される場合

は返還免除の対象にならない旨を十分に説明を行う。

今後においては、子育て日本一の町を目指す中で、有利な制度についてもつとPRしていきたい。

質問 一括返済した人が、猶予期間内で帰島した場合、制度の恩恵を受けられないではないか。

答弁 小豆島町が合併して手厚い交付税措置等により、町の基盤づくりは大きく前進した



SNSで小豆島の魅力発信を

改修工事が完了し、合併時から懸案であった建物は、緑地帯の管理も滞り、夜になれば人気のない真っ暗な建物の出現を不安がる住民も多い。整備計画の完工までの管理はどうなるのか。

それに伴い、旧池田市は今年度、旧内海市は来年度に撤去されると聞くが、いずれの土地も旧町の中心的要衝の地であり、今後の再開発、有効利用について、将来ビジョンや整備計画の腹案はあるのか。

また、内海市跡地については、陸上交通の結節点として、通院、通学や買い物客など、住民の生活拠点でもあり、本計画とは別に、住民の利便性を図るために、屋根付きバス停、駐輪場や公衆便所等、早急な整備が必要付帯工事については、



撤去される旧内海市役所

質問 5月7日、市役所改修工事が完了し、合併時から懸案であった建物は、緑地帯の管理機能が1カ所に集約された。

それに伴い、旧池田市役所は今年度、旧内海市役所は来年度に撤去されると聞くが、いずれの土地も旧町の中心的要衝の地であり、今後の再開発、有効利用について、将来ビジョンや整備計画の腹案はあるのか。

答弁 旧池田市役所は、本年度1月ごろ撤去後、池田窓口センターおよび中央病院の駐車場として活用する。また、旧内海市役所は来年度撤去予定であるが、地域の要となる立地環境に

ある町の大切な資産であるので、町民の皆様のご意見も参考に、民間活力の導入も視野に入れ、早急に、有効活用していきたい。



森 弘章議員

旧・池田・内海市役所跡地の整備、活用について

町 「地域の要となる町の大切な資産、町民の意見も取り入れ有効活用したい」

では。

なお、現在廃止となつた建物は、緑地帯の管理も滞り、夜になれば人気のない真っ暗な建物の出現を不安がる住民も多い。整備計画の完工までの管理はどうなるのか。

答弁 旧池田市役所は、本年度1月ごろ撤去後、池田窓口センターおよび中央病院の駐車場として活用する。また、旧内海市役所は来年度撤去予定であるが、地域の要となる立地環境に

ある町の大切な資産であるので、町民の皆様のご意見も参考に、民間活力の導入も視野に入れ、早急に、有効活用していきたい。

福田・坂手線の2カ所のバス停があり、利用勝手が悪いので、それらを含めて早急に対応したい。

答弁 旧市役所の管理については、町の景観を壊したり、近隣の方に迷惑をかけることのなきよう、使用時と変わらぬ適切な管理を行いたい。

質問 登下校中の事故、事件が多発している。

児童・生徒の安全対策はどうのようにしているのか。(1)通学路の危険箇所や死角の把握は。(2)不審者情報の発信の経路は。(3)防犯ブザーは機能しているのか。(4)安全確保の見守り隊の状況は。



柴田 初子議員

児童・生徒の安全対策について

町 「学校・保護者・地域の皆さんとの連携を推進」

に防犯ブザーもしくは防犯笛が行き渡つているが、実際機能しているかどうか確認させる。

④学校支援ボランティアの見守り隊は4団体3個人で86人登録している。

②不審者情報の発信の経路は。(3)防犯ブザーは機能しているのか。(4)安全確保の見守り隊の状況は。

子どもたちが危険を感じた時の緊急避難場所として店舗や個人宅に子どもSOSの看板を設置する。

子供たちが危険を感じた時の緊急避難場所として玄関先の道を照らす場所にLED電灯を設置すると器具代の一部助成制度がある。

答弁 ①各小学校では避難訓練の一環として集団下校を行う際に教員が付き添い危険箇所の確認等を行っている。(2)小豆警察署管内で発生した場合には警察から町へ。町は直ちに各学校へ電話やFAXで連絡。学校は直ちに一斉メールで全保護者の携帯電話などへ配信する。(3)児童・生徒



子どもたちを見守る（見守り隊）



死角となっている通学路

一般質問



森口 久士 議員

定住、交流のまち

町「仕事と家庭生活を両立できる体制づくりに努める」

質問 移住者の状況は平成19年度から28年度までの合計は527件

760人、新聞では29年度188人である。そのうち何件、何人がどのような理由で他の自治体へ移住したのか、また対応は。

答弁 町では平成24年7月から追跡調査を実施している。1年末満に24年度12人、25年度22人の転出がある。年数を重ねるにつれ定住率が高い状況である。

転出理由は、仕事の都合が一番多く、次に家庭の都合である。生活基盤が安定できるよう働きかけていく。

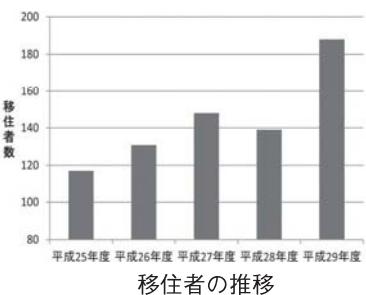
答弁 老人会や婦人会、商工会等の各種団体や

地域「直接自分の目で見て、言葉を交わし、アイデアを取り入れていく」

住民との対話

再質問 県の移住フェアなどに、町長自らが参加する意思是。

答弁 トップセールスは重要と思う。日程調整ができる範囲で参加、PRしていきたい。



質問 各自治会館や集会所は、人が集い地域コミュニティが形成されるなど元気なまちづくりへの根幹を担っている。

こうした施設が経年劣化や災害等により修繕が必要になると、少

子高齢化や人口減少が進む自治会にとつて大きな負担となる。

各地域で行われているサロン活動などで、町政についての講話や意見交換をし、活動を見学している。自ら積極的に機会を捉え、直接自分の目で見て、言葉を取り入れて、アイデアを取り入れて、地域として、また、地域住



各自治会館の修繕にかかる補助制度について

町「補助制度の創設に向けて検討したい」

民の憩いの場として多くの方に利用されるなどを調査することが必要になる。

これまで各自治会と認識している。これから修繕に対する要望をたくさんお聞きしている。

まずは各地区の自治会館や集会所の数や現状を把握し、建設の経験

と認識している。これまで各自治会と認識している。これから修繕に対する要望をたくさんお聞きしている。

補助基準、補助金額などを協議し、他市町の事例も参考にしつつ、適切な補助制度の創設に向けて検討したいと考えている。



各地区で管理の集会所

一般質問

土庄町との合併への考えは

町「島は一つになり始めている」



大川 新也 議員

〔質問〕町の新しいかじ取り役に多くの町民が期待をしている。

しかし初の所信表明5本柱の中で土庄町とは「連携しながら、一体となって、一緒に、連携を一層強化、島が一体となって」との文言ばかりで、「合併」との文言は一度も出でこない。先ずは「合併について所信を表明すべきではないか。土庄町との合併は今どのような考え方か。

〔答弁〕新しいかじ取り役として多くの町民の

ご期待に沿えるよう、町また島の発展のため全身全靈を捧げる覚悟である。掲げた5本柱の施策は、どれも密接に関連し、どれも欠くことのできない施策である。

現在、医療と福祉の充実を始め、多岐にわたる分野において土庄町と密に連携を図りながら、着実に施策を進めている状況であり、島は一つになり始めている。

合併に対する姿勢は先ずは残り2年で法期限を迎える合併特例法等の今後の動向を見極め、合併のメリット、デメリットを把握し、その上で合併を是とする機運が高まり、実が熟すなら判断したい。

町職員の現状・要員計画は

町「現在の行政職員数は充足している」

〔質問〕本年5月新庁舎の改修を終え、一極集中体制となり、町民へのワンストップサービス、業務の効率化が図られると思える。一方で職員通勤車の駐車場不足問題も浮上。現在の職員数は。

また、先日報道で県内主要企業の来春採用予定者人数を今春とくらべて「増加」とした企業は過去最高の40%超。町の来春採用予定人数・要員計画は。

またリターン者を推進する施策には職員として採用する考えは。

〔答弁〕現在正職員数は234人、うち庁舎勤務は143人である。臨時職員が50数人。駐車場問題は近隣者は徒歩か自転車、管理

職はバス通勤で対応し、不足は解消している。

要員計画では現在の行政職員数は充足しているが、再来年から幹部職員の多くが定年を迎えるため、一定数を採用する必要がある。

なお、来春は2人程度採用予定。



バス通勤の様子

オリーブ健康モニターの成果は

町「普及啓発には成果あり」

〔質問〕平成25年度からオリーブ健康モニターを募集し、取り組みを行ったが、その結果、成果は公表されたのか。

また新聞報道で広島県の日本有数のレモン産地大崎上島町で「レモンは健康維持に効果あり」との仮説を検証

するため産学官が連携して町民の1割を対象に5年間追跡調査を実施する。町特産品PRと町民の健康に役立つ

一石二鳥が狙いとある。提案だが、当町も今一度このような規模での調査研究をしては。

〔答弁〕モニター事業で健康効果を得る結果には至らなかつた。ただ、町民の食生活改善意識や全国的に紹介されるなど一定の成

果は出た。これを踏まえて現在、運動も取り入れた新規事業を実施している。

先進的大崎上島町の取り組みは参考になるが、課題も多いと思われる。今後調査研究したい。



体に良いオリーブ



鍋谷真由美 議員

教員の「働き方改革」の取り組みは

給食費の無料化を

町「負担できる保護者にはご負担を」

質問 学校給食法は食育の推進をかけ、憲法は「義務教育は、これを無償とする」としている。すべての子どもたちが教育としての学校給食を保障されるために、独自に無償化を取り組んでいる自治体が増えている。

答弁 学校給食費は、材料費のみが保護者の負担となつておらず、安価で給食を食べること

質問 日本一の子育て応援の町をめざす具体化として、学校給食費の無料化・助成を実施していただきたい。

子育て日本一とは、現金支給ではなく、総合的にどうしたら子どもたちが健やかに育つていけるのか、地域に愛着を持つて育つてくれるのか、そこを中心と考えていきたい。

後継者を支援する就業交付金制度の新設を

質問 教職員の多忙化・長時間労働が深刻化、社会問題化し、国では、中教審の「学校における働き方改革」に関する「中間まとめ」が出され、県は、「教職員の働き方改革プラン」を策定した。また、スポーツ庁は中学校の運動部活動において週2日以上の休養日を設ける指針案を公表した。

教職員が心身両面の健康を維持しながら、教育活動に意欲的に取り組むことができる環境づくりを進め、教育の質の向上をめざすために、本町ではどのように考え、取り組もうとしているのか。

根本的には教職員を増やすことが必要であると考えるがどうか。

教職員を増やすことが不可欠であり、県教委に対し、



職員室の様子

質問 リターンを推進する施策の具体策として、農業、漁業、商工業の後継者に就業交付金を支給する制度を新設してはどうか。北海道の浜中町では、就業交付金制度の実施で、漁業などの後継者が一挙に12人でき、大変喜ばれています。

答弁 人材確保をするため、小豆島町奨学資金貸付制度による返還免除期間の見直しや保健・医療・福祉関係職の修学資金に特別修学資金を追加するなど、幅広い取り組みを実施している。

規漁業就業者安定給付金事業がある。商工業では、直接後継者に給付する制度はないが、人材育成を図るために、中川塾を開講している。交付金のような支援ではなく、生活環境や基盤を整えるための諸施策を展開したい。

世代人材投資事業、新

一般質問

道路交通のスマートな流れについて

町「拡張工事が有効だが

時間がかかる」



森 崇 議員

私が運転手の時、田ノ浦から古江まで1時間半かかり客は船に乗り遅れた。昔のことだと思っていたら一昨年あの道路で1時間かかったと聞き驚いた。救急車も通れなくなる。町・県・バス会社・地元で今どんなことを話しているのか。この工事費は県が全額負担するのか。



拡張が必要な田浦線



新庁舎の駐車場の様子

答弁 今の実態は年間一昨年7・1日。昨年7・6日である。年間は10日程度年休の取得を目指すよう課長会などで指導している。

また管理職自らが定期退所し職員が帰りやすい雰囲気づくりにも努めている。働きやすく、休みも取りやすい職場環境づくりに努め

【質問】 小豆島は観光地なので観光客が多いと道路が渋滞する。町長の施政方針でも道路網・住環境の改善・生活基盤は重要となる。

答弁 拡張工事が最も有効だが時間がかかる。映画村に実態を聞いたが30分位かかったことがあるらしい。改良済み道路が4,664メートル。未改良が1,485メートルで今も改良に努めている。町、県は協力しながら事業促進に向けて県が負担する。

【質問】 庁舎が新しくなつて良くなつた。老人会などには見学、案内したようだが日曜日などに「慣れるまで一般市民に案内し説明」すべきだ。また町職員の駐車場が優先しているように見えるが、一般的の町民向け駐車場は以前より26台分多くなっている。近くの職員は徒歩か自転車で通勤している。

答弁 日曜日などに見学会をするとなると数多くの職員に休日出勤を強いるので、その都度の対応を考えている。困った場合は遠慮なく声をかけて欲しい。

【質問】 駐車場が優先しているように見えるが、一般的の町民向け駐車場は以前より26台分多くなっている。近くの職員は徒歩か自転車で通勤している。

答弁 町長は各課に任していけるよう使用者に義務付けています。以前「計画法39条は年休を取らせよう使用者に義務付けています。以前「計画年休を」と質問すると職員は何日の年休を取っているのか。

答弁 また各課は何人不足しているのか。

【質問】 運転する人が車で右側を走ると当然、罰せられる。労働基準法39条は年休を取らせよう使用者に義務付けています。以前「計画年休を」と質問すると職員は何日の年休を取っているのか。

答弁 職員数の実態については、各課の人数は足りている。(職員数は234人)

新しい庁舎の駐車場確保について

町「以前より

26台多くなっている」

町職員の年休消化について

町「一昨年7・1日、

昨年7・6日





「住みよい」地域 を目指して

羽田 満

(西村自治連合会 会長)

西村自治連合会は、世帯数539戸、人口1,155人、清水、日方、原、流、中条、西条、竹生の7つの自治会で構成され、小豆島町のほぼ中心部に位置し、オリーブ公園があるところです。最近は、県外・他地区からの転入者も多く、人口が増加している地域のひとつです。毎年8月15日には、67年間続いている「若精霊供養、精霊流し」を行いますので、多くの皆様に西村ならではの伝統行事を見て触れていただきたいと思います。

7つの自治会には各課題がありますが、西村地域として対応が必要な時はその都度情報を共

有、協議しながら前に進めています。また、西村公民館とは地域の拠点として、老人会、婦人会、子供会等と連絡・調定・相談できる「いい関係」で常に協力しあっています。

高齢化が進む中で、体育大会、盆踊り、太鼓奉納等、様々な行事を見直し継続していくことが、地域の活性化につながっていくと確信しています。自治会行事等が力となり、これからも住民の皆様と一緒に「住みよい」西村を目指します。



精霊流し

講会を傍聴しませんか。

次回定例会の予定は 9月中旬 です。



小豆島観光 ボランティアガイドクラブ

会長 松尾志郎

地元ガイド案内による
「まち歩き」や体験型旅行
の人気があり、各地でボ
ランティアガイドが活動し
ています。

本会は、平成14年10月に
発足し16年近く経過しまし
た。会員数は増減があつた
中、現在44人です。

島の語り部（ガイド）と
して、寒霞渓・オリーブ公
園・映画村などを歩くこと
や、「二十四の瞳の紙芝

居」によって、歴史や文
化、自然とのふれあいを通
じて、島の思い出づくりの
お手伝いをし、小豆島ファ
ンの増加につながる活動を
しています。

そして、ガイド技術の向
上や活動内容の充実の方
め、研修会も随時開催して
おります。

最近は小豆島が特に注目
され、今まで以上に観光客

が訪れることが見込まれて
います。

当会も活動の場や回数が
増えていますが、会員の高
齢化や事情もあり、それぞ
れの活動実績にはかなり差
があります。会員のレベル
向上だけでなく、「おもて
なし心のある楽しい仲間を
求めています」島のこと・
話も楽しく覚えられます

ガイドの喜びは、お客さ
まからの「拍手」や「あり
がとう」の一言です。それ
だけで元気が出ます。

皆さんも活動を楽しんで
みませんか。

問い合わせは町商工観光課
(0879) 82-17021

【お客さまとの出会い・
ふれあいを大切に!!】

編集後記



8年ぶりの広報委員
復帰となりました。こ
の間にやり方や基準が
変更となつたところも
あり、少しとまどうこ
ともありました。
簡単かつ、わかり
やすい広報を、心がけ
て編集していきますの
でよろしくお願ひしま
す。

藤本傳夫
記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会
〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL(0879)82-7060 FAX(0879)82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp